

野田市立図書館及び野田市コミュニティ会館指定管理者候補者 選定委員会（フォローアップ）会議録概要

開催日時 令和4年3月24日（木）午後3時40分から午後4時40分まで
開催場所 野田市役所4階 職員控室
出席委員 総務部長（副委員長）、企画財政部長、生涯学習部長、管財課長
欠席委員 副市長（委員長）、市民生活部長、行政管理課長
事務局 興風図書館、市民生活課、行政管理課

1 開会

<副委員長から開会の言葉>

2 議事

- (1) 令和3年度（4月～12月）野田市立せきやど図書館及び野田市関宿コミュニティ会館業務報告書及び令和4年度野田市立せきやど図書館及び野田市関宿コミュニティ会館業務計画書の審査について

<事務局から令和3年度（4月～12月）野田市立せきやど図書館及び野田市関宿コミュニティ会館業務報告書及び令和4年度野田市立せきやど図書館及び野田市関宿コミュニティ会館業務計画書について一括して説明>

<審議の概要>

- 業務報告書9ページの地域の特性を活かした取組について、関根名人関係の企画を行ったようだが、今後の業務計画の中で鈴木貫太郎翁に関する企画を検討しないのか。
- 鈴木貫太郎翁に関する企画としては、これまでの取組として平成27年に戦後70年及び映画「日本の一番長い日」の上映に合わせた企画展を開催し、また平成30年には鈴木貫太郎翁没後70年として企画展示を行った。また、せきやど図書館内には、鈴木貫太郎翁に関連した著作物を常設展示している。
現時点では鈴木貫太郎翁に関する具体的な企画はないが、鈴木貫太郎記念館の再建に向けて令和3年に建設準備委員会が発足し、鈴木貫太郎記念館再建基金の創設、ふるさと納税の寄附金の使い道に鈴木貫太郎記念館再建基金が追加されたこと、鈴木貫太郎翁、タカ夫人のゆかりの資料や情報の提供を野田市が呼びかけていること等の、鈴木貫太郎翁に関する野田市の最近の動向を踏まえ、今後、企画を検討していく。
- 業務報告書9ページの地域の特色を意識した図書館運営について、せきやど図書館には寄贈された将棋関連本の所蔵があり、傷みが進んで展示できない資料はその複製に努めているとあるが、これまでにせきやど図書館において複製されて

展示できるようになった資料はどのくらいあるのか。

→ 傷みが進んで展示できない寄贈資料のうち、製本された図書は複製が難しいが、「和綴じ本」と称される図書は複製が可能である。これまでに資料8点について複製を行い、館内で閲覧できるよう書架へ配置している。

○ 業務報告書18ページのサービス向上のための取組について、「ご意見箱を設置し、利用者から広く意見をいただくように努めている。」とあるが、回収が0件では、認知されていないことも考えられるが、利用者の意見を引き出すための方策はあるか。

→ サービス向上のための取組として、3月2日から13日まで利用者アンケートを実施した。アンケートの内容としては、窓口や電話等における職員の対応、館内の清掃の状態、利用された後の満足度等の項目に加え、自由に意見等を記載できる欄を設けた。

なお、アンケートの結果については、現在取りまとめ中であり、集計が完了次第興風図書館へ報告することとなっている。

○ アンケートから意見を取り込んで、改善できることについては実行していただきたい。

→ 了解した。

○ 業務報告書37ページの事故、要望又は苦情の対応状況について、対応状況の記載がないが、苦情等はなかったということか。苦情があったならば具体的な内容を教えてほしい。

→ せきやど図書館及び関宿コミュニティ会館ともに、要望及び苦情等はなかった。なお、昨年度の要望及び苦情等は、市長と話そう集会での要望2件及び地震の事故1件を除き2件であるため、減少傾向である。

○ 業務報告書45ページの関宿コミュニティ会館利用件数について、コミュニティ会館の会議室及び小ホールは、主にどのような団体がどのような利用をしているのか。

→ コミュニティ会館の会議室は、各種サークルの練習等の文化活動や、各種団体の会議、児童家庭課の事業である「二川つどいの広場」や保育課の事業である「ことば相談室」等に利用されている。

また、コミュニティ会館の小ホールについては、合唱等の練習の場としての使用、音楽教室の発表会、女流名人戦大盤解説等に利用されている。

なお、女流名人戦大盤解説は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度は客席に観客は入れずに、舞台のみを使用してインターネットによるオンライン中継により実施された。

○ 業務計画書5ページの施設の利用促進に向けた取組の、一般利用者向け事業の実施について、「興味・関心を引き出す事業」の具体案について説明してほしい。

→ 令和3年度に引き続き、指定管理者の自主事業として「せきやど図書館まつり」を開催し、本への関心を高めるための企画として、「本の福袋」、「大人のためのおはなし会」等を計画している。

この企画は、利用者が自ら選ぶことがないであろう「想定外の本、未知の領域のストーリー」を紹介するもので、それによって新たな読書への興味が喚起されることを願って実施するものである。

そのほかの年度事業としては、「関宿歴史講座」、「せきやど出前寄席」等を開催する予定である。

○ 関宿地区小中学校児童生徒への読書推進を指定管理業務として行っているが、その効果について説明してほしい。

→ 各学校の先生に対し、授業の資料を提供する授業支援の利用が増えている。読書推進業務は今年度で3年目となるが、成果は確実に出てきている。

○ 時期や学校によって利用に差が生じることがあれば、解消するための取組をお願いしたい。

→ 了解した。

<審議の結果>

令和3年度(4月～12月)野田市立せきやど図書館及び野田市関宿コミュニティ会館業務報告書及び令和4年度野田市立せきやど図書館及び野田市関宿コミュニティ会館業務計画書について承認

(2) 令和3年度(4月～12月)野田市立南図書館、野田市立北図書館、野田市南コミュニティ会館及び野田市北コミュニティ会館業務報告書の審査について

<事務局から令和3年度(4月～12月)野田市立南図書館、野田市立北図書館、野田市南コミュニティ会館及び野田市北コミュニティ会館業務報告書について説明>

<審議の概要>

○ 業務報告書3ページの各種サインの掲示について、各種サインとはどのようなものか。

→ 図書館とコミュニティ会館を同一の指定管理者が一体的に管理している利点を活かし、コミュニティ会館の貸室の利用予約可能日や利用料金表を図書館にも掲示する等、利用者の利便性向上を図るため、施設の案内等について分かりやすく掲示している。

○ 業務報告書25ページの緊急時の危機管理への取組について、職員が感染症等により勤務ができなくなった場合を想定した業務継続計画を策定しているか。

→ 法人において感染症対策フローを策定している。職員及びその同居家族に新型コロナウイルス感染症の陽性者又は濃厚接触者が発生した場合、直ちに野田市及び法人本部と情報共有を行うとともに、感染症対策フローに従い、状況に応じて職員に対し自宅待機命令等の措置を取り感染拡大防止を図る。

また、新型コロナウイルス感染症等によって職員が出勤不可となり、業務に支障が出ると判断した場合は、直ちに法人本部と連携を図り、必要な人員を確保することで業務を継続することとなっている。

○ 業務報告書35ページの委託実施状況について、物品及び役務の調達に当たっては可能な限り地元業者に発注するように努めることが管理仕様書にも記載されていることから、舞台関係は専門的な業務のため市内の業者への委託は難しいが、清掃や消防設備保守点検、植栽管理等については市内業者の活用を検討されたい。

→ 物品及び役務の調達に当たっては可能な限り地元業者への発注に努めるよう、引き続き指定管理者へ依頼していく。

○ 業務報告書52ページの破損及び修繕の実施状況について、「図書館天井蛍光管交換（125本）」とあるが、内容を教えてほしい。

→ 館内の蛍光管の交換は、基本的には指定管理者職員が蛍光管の劣化による点灯不良を確認した際に都度交換を行っているが、南図書館等の天井照明については高所に設置されており、交換作業は落下や転倒等の危険を伴い指定管理者職員では対応できないため、専門業者に交換等の修繕を依頼し、図書館天井部の蛍光管の交換を行い、安定器等の不具合があった場合には併せて交換修繕を行っている。

○ 照明をLEDにする計画はあるか。

→ 具体的な計画はないが、今後検討していきたい。

<審議の結果>

令和3年度(4月～12月)野田市立南図書館、野田市立北図書館、野田市南コミュニティ会館及び野田市北コミュニティ会館業務報告書について承認

3 閉会